



再配達撲滅プロジェクト ～宅配BOX特集

① “ICカード連動型” 宅配ボックスのご紹介！



今回は、以前のかわら版でも少し触れました宅配ボックスをご紹介します。この宅配ボックスは、株式会社アイエヌケイコミュニティとセキュラが共同開発したものです。アイエヌケイコミュニティ社は広島に拠点を置き、リフォームを通じてアパート・マンション管理や介護福祉設備を提供する企業です。昨今の再配達問題を解決したいと考えていたところに、セキュラのオートロックシステムと出会い、両社がタッグを組んで新しい宅配ボックスを開発・製造しました。この宅配ボックスの機構部にセキュラの技術が盛り込まれています。

- ① ICカード1枚でエントランスから各玄関(マイロック)、そして宅配ボックスの解錠が可能！
② 電池式で電気工事が不要！(急な停電も問題ありません。さらにコストもお得！)
③ ICカードに加え、暗証番号でも解錠可能！ ※世界初の仕様・特許出願中

入居者は宅配業者様から投函された通知書を確認し、事前に登録されたカードを宅配ボックスのカードリーダー部にさして荷物を受け取るだけ！カードはマイロックやエントランス(リーダーを設置した場合)とも連動させることができ、まさに “カード1枚でキーシステムが完結する優れた商品” となっています。

入居者様にとっては、
・カード一枚持っていれば玄関から宅配ボックス、エントランスまで開ける事ができ、快適・便利な生活を送ることができる。

オーナー様にとっては、
・入居者が望む設備ランキング上位の宅配ボックスを設置することで入居率を上げる事ができる。
・マイロックやエントランスとの連動性をもたせ、物件の付加価値を上げる事ができる。

管理会社様にとっては、
・カギの管理が簡素化できる。
・入居促進のアピールができる。
など、それぞれにWIN-WIN-WINのメリットがあります。

Comparison of general delivery boxes and the Secura delivery box. Includes dimensions and material information for both types.

その他の特徴として、
・壁付、足付の両方に対応
・捺印による受領印システム
・1ボックスにつき6戸まで登録使用可能
・奥行の浅い、スリムタイプも用意
・24時間対応のサポートシステム

など、ユーザー様のご要望に応える事ができるよう、機能やシステムを充実させています。詳細はセキュラ本社・営業所または営業担当までお問い合わせ下さいませ。

②全国賃貸住宅新聞に掲載されました！

弊社の宅配BOXが7月9日号の全国賃貸住宅新聞にも掲載され、大きな反響をいただいております！

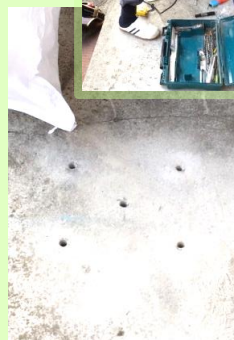
Advertisement for the Secura delivery box from the National Rental Housing News. Includes a photo of the product and detailed text about its features and availability.

③宅配ボックス設置レポート ～横浜市保土ヶ谷区

2棟13室のアパートに設置。13室全部屋
玄関にマイロックを設置し、1棟につき2台
ずつ計4台の宅配ボックスを設置しました。



基礎となる「足」を設置します。
宅配ボックスの重量を支える
重要な部分になりますので
特に慎重に行います。



まずは設置面に穴をあけ、
アンカー工事をを行います。



完成



下段ボックスの設置が完了しました。
続けて上段ボックスを固定し設置します。カード登録を
済ませれば玄関から宅配ボックスまでカード一枚で解錠
できるシステムの完成です。

「やまぐち産業維新展」に出展します！

山口県では、2018年が明治150年を迎える年であることから、『山口から開花する、未来への種まき。～150年を振り返り、次の150年につなぐ～』をテーマに「山口ゆめ花博」が開催されます。(9月14日～11月4日)

開催期間中は、様々な催し物やイベントが企画されており、その中で、9月17日・18日に「やまぐち産業維新展」が開催され、セキュラも出展させていただきますことになりました。本展示会はものづくり体験や県内企業団体170社の展示など、大人から子供まで楽しめる内容となっています。開催期間中に花博に行かれる予定の方は、ぜひ展示会場へも、ご家族揃ってお立ち寄りください。

やまぐち産業維新展

日程 2018/9/17(月)～9/18(火)

場所 山口きらら博記念公園 多目的ドーム
(山口県山口市阿知須509番50)

※ご入場には山口ゆめ花博入場券が必要です。



今月の言葉

【常在戦場(じょうざいせんじょう)】

「常在戦場」とは、読んで字のごとく「常に戦場にあるの心を持って生き、ことに処す」という意味です。

多くのことわざが中国由来のものであるのに対し、この言葉は新潟県の長岡藩(現：長岡市)の藩訓とされているものです。

戦場では、ちょっとした油断や判断ミスが文字通り命取りとなるため、一瞬たりとも気を抜くことはできません。普段からその緊張感を持って事に当たれという武士の心得です。

現代でも多くの政治家や経営者の方が好んで使う言葉の一つです。私たちの生きる現代社会においても、命までは取られないとしても、緊張感の欠如から生じるミスにより、お客様に経済的損害を与えたり、場合によっては大きな事故へとつながるケースもあります。

仕事の質や量に関わらず、また仕事の相手が誰であれ、適度な緊張感を持ち常に真剣に全力で取り組むことの大切さを私たちに教示してくれています。